

ゆうゆうだより

新職員挨拶



はじめまして。私は、今年の三月に大学を卒業し、支援相談員として入職した豊田志帆と申します。

以前から福祉関係の仕事に就きたいと思っていました。大学で福祉の勉強を学び始めてから、相談員という職種にとっても魅力を感じ、この度、ゆうゆうハウスにご縁があり、入職致しました。

まだまだ未熟者で、皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、少しでも早く仕事を覚え、立派な相談員になれるよう頑張りたいと思います。至らない事ばかりですが、笑顔で明るく元気な相談員を目指していきたいと思っております。

ご指導の程宜しくお願い致します。

支援相談員 豊田 志帆

涅槃会



有難くい、お説教をして頂きました。
南無阿弥陀仏く合掌。
涅槃団子も頂きました。



ほんまにそうやねく
感謝せんなんね
南無阿弥陀仏く
南無阿弥陀仏く
南無阿・・・・・



涅槃団子食べて無病息
災でおらんなんちゃ!



あ〜有難や
今年も一年
健康でござ
えます様に!!



お茶会

一階お茶会

一階、二階とお茶会をしました。さて、お点前の方はどうだったのでしょうか・・・



三月に入り、春の訪れを感じながら、一階「表千家」、二階「裏千家」の各流派で、ボランティアの人達に協力を頂きながら、普段とは違った装いで皆様着物を着てお茶会が行われました。今回は利用者様自ら、茶筌を持ち自分で点でて頂き、「うまく泡が点たんわく」「やっぱり点でもろた方がうまいわく」の声の中で、いつもとは違う雰囲気を楽しまれていらっしやいました。

着物は日本古来のものではありませんが、昨今、何か物事がでないとなかなか着る機会がありません。身にまよえばキリッとし引き締まるような厳かな感じがし、利用者様に懐かしさと「目の祭りやわく」と喜んでいただき、和気藹々の中終了となりました。

看護職員 多田 幸代



二階お茶会



上手い
事でき
よ
か



美味しゅうござい
ました。

毎年恒例の行事のお茶会が、三月六日に行われました。お茶会では、二階ホールに設置された舞台に利用者様をはじめ、施設長、着物を着た職員、ボランティアの方々がデモンストレーションとして参加しました。デモンストレーションでは、実際に和菓子・お茶をいただき、お茶の作法を多くの利用者様に見ていただきました。そして、利用者の方々に普段と違う雰囲気の中、和菓子とお茶を飲んでいただくことができました。中には、「お茶美味しかった」「着物姿よかった」と喜ばれている利用者様もおられました。

今回、このような機会を設けることができてよかったです。最後になりましたが、多くの方々の協力がありお茶会が利用者様にとって忘れられない日になったことに感謝申し上げます。

介護職員 大野 雄一



苦からず、甘からず
上手い茶！



各委員会まとめ

給食委員会

今年一年間、給食委員長を努めさせて頂いた横川です。

収穫祭等の行事を始め、利用者の『良かったよ』『ありがとう』等の声と共に笑顔が見られて良かったです。また、改善した良い所も聞けたので、次回に続けていきたいと思えました。

副委員長を始め、委員の人達と協力して各行事について話し合い、行事を行えて良かったです。利用者様にも喜んでくれたので良かったです。

給食委員会実施行事

- ・ 九月 お月見会
- ・ 十月 ゆうゆう祭（デザートバイキング）
- ・ 十一月 収穫祭（豚汁）
- ・ 三月 お茶会



生活委員会

平成二十年度、生活委員長をさせて頂きました谷井です。

今年は、職員の駐車場に畑を作り、サツマイモと大根を育て、中庭にはきゅうりやミニトマトを育てました。

利用者様の方には、畑に苗を植え、水やりをして畑と関わっていただき喜ばれる方や畑を見て昔の事を思い出され笑顔でお話される方もおられて嬉しかったです。収穫も利用者様の方に手伝って頂き収穫した野菜は収穫祭に使用し食卓に上がりました。利用者様の方に、ゆうゆうハウスで作った野菜だと伝えると喜んでおられ「おいしい」と言う声が聞け、良かったと思えました。

冬には、お正月にコタツを設置し入って頂きました。コタツに入った利用者様は、「結構やちや」と喜んで頂けました。入れなかった利用者様も居られたので残念です。来年はもっと沢山の方が利用出来たら良いと思えました。一年間ありがとうございました。

排泄委員会

排泄委員長を務めさせて頂きました山崎です。一年間を通し、色々な事に取り組んできました。排泄委員会では毎年のようにある試供品の使用、去年も行われた勉強会、今回は「スキンケア」について学びました。その中でスキンケア効果があるといわれるハーブビネガー療法を施設で試みました。現在も継続中であり今後もスキンケアトラブル防止の為に続けて頂けたらと思います。次に事例報告会では「排便コントロール」について委員会内で協力しあい発表しました。しっかりとした結果はでませんでしたが、この事例報告会で気付かされた事もたくさんありました。今年度取り組んだ事を少しでも今後の排泄ケアの役に立てたら良いと思います。一年間ありがとうございました。

入浴委員会

入浴委員長をさせて頂きました山本です。今年度の入浴委員会では、季節毎に菖蒲湯や柚子湯等の季節の湯を実施し、また水虫等の症状の見られる利用者様を対象とした足浴の実施を行いました。足浴では個人差はありますが改善の効果が見られ、季節の湯では、湯船に浮かんだ果実を触ったりされ、楽しんでおられる利用者様の姿を見る事が出来良かったです。

入浴は、施設生活の中でも利用者様には大きな楽しみの一つであり、今年度は入浴場に利用者様が協力して作成した絵や小物等を飾り、一年を通して入浴の場に和やかな雰囲気を提供できるよう委員会一同努めてきました。

一年間ありがとうございました。

皆様、今日は。今回からシリーズで『認知症の高齢者への具体的な接し方』について四回に渡り、ご紹介していきたいと思えます。皆様の何かにお役に立てれば幸いです。第一回目は『物忘れ』『妄想』についてです。

物忘れ

―御飯はまだですか― **ポイント** **話題を変え、『忘れる事』を利用する**

つい今し方食べたばかりなのに、その事をすっかり忘れてしまつて催促すると言うのは、よくある症状です。大切な事は、何が事実かで争う事ではなく、本人に納得してもらつておくことです。『さつき食べたでしょ』と言っても『私は食べていません』と返つて反感を持たれてしまいます。あるいは『自分たちだけ食べて私には食べさせてくれない』と言う被害妄想的な感情を抱きかねません。

こう言う場合は『もうすぐ出来るから待つてね』とか『ちよつと作るのを手伝つて』とか言つて、待つているうちに忘れてもらうのが一つの手段です。また、何となく口淋しいとか、自分の好きな食べ物を食べさせてもらえない不満からこういう訴えをしている可能性もあるので、日頃から本人の好きな果物やちよつとしたお菓子等を用意しておいて『もうすぐ出来るから、それまで我慢して』と言うふうにして機嫌を良くするやり方もあります。

妄想

―財布を盗まれた― **ポイント** **同じ感情を共有して、味方になる**

大切な物を無くしてはいけないと思つてどこかにしまい、そのまま忘れてしまう事があります。いざ使おうと思つたらそれが無いので、『これは怪しい、誰かが盗つたに違いない』と疑うのです。

こういう場合は『私じゃないわよ』と言つても、『自分が盗つたと白状する盗人がいるはずがない』となります。だから、『それは困りましたね、一緒に捜しましょう』と、一緒に捜しましょう。

もし見つかつた時も、家族が見つけると『やっぱりあんたが盗んでいた』と言われてしまいます。ですから、自分の手柄にはせず『この辺りを探してみましようか』と上手い具合に導いて自分で見つけてもらつて、『あつたあ、良かった』と、喜びを分かち合ひましょう。

今回は『見当識障害』『人物誤認』についてです。お楽しみに(´▽`)



「一年生ランドセルに背負われて」
キラキラ笑顔の子供たちを見ているだけで、
元気になれますね。
負けられません。

介護職員 山本小百合